

あなたがたより



エコチルだより

Japan Environment & Children's Study

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/>



エコチル調査だよりは、
「子どもの健康と環境に関する全国調査
(エコチル調査)」の研究成果や進捗状況を
参加者のみなさまへお知らせする情報紙です。

エコチル調査のいま – 5周年を迎えて –

環境省環境保健部長の北島です。エコチル調査に御参加いただいている皆様には、日頃より、本調査に御理解と御協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

国立環境研究所が中心となって進めてきたこのエコチル調査は、今年でようやく5年目を迎えることとなりました。この間、調査に御参加いただいているお母様をはじめ、御家族の皆様におかれましては、日々成長されているお子様の変化に、目を見張るものを感じていらっしゃると思います。

エコチル調査の第一段階である参加者の募集については、皆様の御協力により、平成26年3月に10万人という目標を達成することができました。このような規模で行う調査は世界でも例がなく、エコチル調査に参加している方々の努力が、日本のみならず世界の子どもにとって重要な

成果を生むことになると期待しているところです。

様々な化学物質とそれを利用した製品は、私たちの生活を豊かにする一方で、適切な管理がなされない場合には、環境を経由して人の健康や生態系に悪影響を及ぼすおそれ(環境リスク)があります。このため、環境省では、環境中(水、大気、生物)での化学物質の残留状況を継続的に調査して対策に活用するとともに、環境リスクの大きさを科学的に評価し、その結果に基づいてリスク管理(規制など)を行っていますが、化学物質が人の健康へ与える影響は、未だ解明されていないものが多いのが現状です。こうした中で、環境中の化学物質が子どもの健康や成長発達にどのような影響を与えているのかをより正確に把握し、その結果に基づいて安全、安心な子育て環境を実現することを目的としてスタートしたのがこのエ



環境省総合環境政策局
環境保健部長

北島 智子

コチル調査です。

現在、エコチル調査は結果の分析を本格的に実施していく段階に入っているところですが、御参加いただいている皆様をお願いしている調査が全て終了するまでには、13年という長い歳月を要します。皆様には半年に一度の質問票にお答えいただいたり、詳細調査で検査会場まで御足労いただいたり、多大な御貢献をいただいておりますことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。この調査の目的である安全、安心な子育て環境の実現に向けて、今後も引き続き、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

進捗報告

■質問調査票

現在(平成27年11月)、これまでにお送りいただいた質問調査票(6か月から4歳までの8種類の)の総数は、すでに延べ40万人分にも上っています。早い時期からご参加いただいたお子さんには、まもなく4.5歳質問票記入のお願いが始まります。

■データの確定と解析

平成27年度末には、出産までの質問票や、妊娠中のデータの一部が確定され、研究論文も少しずつ発表されるようになってきました。興味深い成果については、この紙面でも紹介していく予定です。

■試料分析

冷凍保管されていた血液などの試料について、昨年度から金属とコチニン(タバコ成分の代謝物)の分析が始まりました。測定項目によっては、正常値や基準値が示されていないため結果の解釈が難しいものもあります。専門家の意見をまとめて原因や対策をわかりやすくご説明できるよう検討しています。

■詳細調査

昨年10月から開始した詳細調査も、全国の参加者の中から計画通り5,000人のご協力をいただける見込みがたちました。1.5歳、2歳、3歳、4歳と、詳しい調査が続きますが、ご協力をお願いいたします。



ユニットセンター巡り

全国 15 地区のユニットセンターでは、それぞれ独自に参加者のみなさまとのふれあい活動を企画しています
今回は愛知ユニットセンター、福岡ユニットセンター産業医科大学サブユニットセンターをご紹介します



愛知 ユニットセンター

ようこそ！ サテライトオフィスへ

愛知ユニットセンターでは、調査対象地域である名古屋市北区・一宮市内にある各サテライトオフィスにおいて、毎月 1 回、調査スタッフや参加者自らが企画して行う「**ぷちイベント**」、大学教員や専門家のボランティアによる環境に関することや、子育てに関することなどを分かりやすく学ぶことができる「**ぷち講座**」を開催しています。これらの企画は、参加者のみなさまに楽しみながら調査を続けていただくために、またスタッフとみなさまの距離を縮めるためにスタートしました。

↓北区オフィス



また、各サテライトオフィスは、毎月決まった日時を「**ぷちラウンジ**」として無料開放し、お子さまを連れ参加者同士でコミュニケーションをはかったり、調査スタッフと交流する場としてもご利用いただいています。

スタッフよりひとこと

サテライトオフィスにお越しいただいた参加者のみなさまとの楽しい会話の中には、たくさんのヒントがあります。13 歳までの輝く子育ての時期のエッセンスになれるよう、スタッフもエコチルキッズの成長を楽しみたいと思います。



↑一宮オフィス

インフォメーション

「Eco 愛 children! magazine」は、調査参加者、協力医療機関、行政のみなさまと愛知ユニットセンターをつなぐ広報誌として、2011年7月から年3回定期発行しています。調査参加者のみなさまにも企画段階から参画いただき、2015年11月現在14号まで発行してきました。エコチル調査でわかってきたことや、エコチル調査ゆかりの先生が解説する「環境と子どもの健康最前線」、イベント紹介等を掲載しています。また、参加者のみなさまから投稿された写真を掲載する「エコチル！メイソ」も大変好評です。最新の情報はHPやFBをご覧ください。



エコチル愛知



産業医科大学 サブユニットセンター

「エコチル調査ならではの」 イベントを開催♪

福岡ユニットセンター産業医科大学サブユニットセンターでは、定期的に参加者向けのイベントを開催しています。2か月に1回の小イベントでは歯のお話やベビーマッサージ、リトミックなど、お子さまと一緒に楽しめる内容の他、ヨガや座談会など1人でリフレッシュできる内容も企画しています。ご参加いただいた方からは「子どもと楽しく過ごすことができました。」「また来ます!」といったうれしいお声も。お母さま、お父さまとお話したり、可愛いお子さまと触れ合ったりと、私たちスタッフにとっても大変有意義なコミュ



ニケーションの場となっています。また年1回の大イベントも開催しています。平成26年度は北九州市の子育てママ&パパのプラスバンドによる「ファミリー音楽会」を開催しました。当日は多くのご家族にご来場いただき、照明も明るいまま、演奏中も出入り自由など、お子さま連れでも気兼ねなく楽しめる「エコチル調査ならではの」音楽会となりました。イベントの最新情報・詳細はHPで紹介しています。今後ともぜひ多くの方にご参加いただき、長い調査と一緒に楽しく続けていただきたいと思います。

スタッフよりひとこと

参加者のみなさまもスタッフも仲間は全国にたくさんいます。子育て中の心配な事、大変な事、いつでもセンターにお話ください。一緒にお子さまの成長を見守っていきましょう！



インフォメーション



質問票調査の進捗状況や子育て情報、ユニットセンターからのお知らせなどを掲載している「はっぴーエコチル」は、参加者のみなさまにもモデル出演や写真投稿などで協力いただき、一緒に作り上げる広報誌を目指しています。HPでも、質問票記入に役立つ身長計やペーパークラフトをダウンロードできたり、楽しい工夫が満載です。ぜひのぞいてみてください！



エコチルふくおか



お答えします

参加者

Q&A



まだ送っていない質問票があるのですが、なくしてしまいました。もう一度送ってもらえますか？



再送いたします。

質問票の紛失、破損につきましては、担当ユニットセンターまでご連絡ください。ただし、初回受け取り日より半年以上間が空いている場合には、古い質問票は「1回お休み」としていただき、無理せずこれからの質問票にお答えください。



質問票でおかしな日本語の質問文があります。答えに悩む時があるので、もっとわかりやすい文章にならないのでしょうか？



申し訳ございません。

海外で作られたものを翻訳している部分があるため、日本語としてわかりにくい表現になってしまうことがあります。権利等の関係上文言の変更には制約があります。あまり難しく考えず、気軽にお答えください。



転居したので参加者向けのイベントの案内をもらっても参加できません。居住地から近いユニットセンターのイベントに参加できますか？



ご参加いただけます。

参加者向け行事のご案内は、全国15地区のユニットセンター各HPにてご確認ください。参加したいイベントなどがありましたら、各ユニットセンターまでお問い合わせください。

各ユニットセンターのHPは、環境省「エコチル調査・参加者のひろば」からアクセスできます！





子どもの病気の多くは感染症です。子どもの突然の熱や発疹は、不安になる方も多いでしょう。前もって感染症のことを知っていれば、落ち着いて対処することができます。

感染症とは

子どもの感染症の多くは、ウィルスと細菌が原因です。症状は、発熱、発疹、咳、鼻水、嘔吐、下痢などがみられます。インフルエンザやおたふくかぜなど名前がついた感染症もありますが、名前がつかず、「のどのかぜ」「おなかのかぜ」「ウィルス感染症」と説明されることもあります。感染症は、ゆっくり休めば自然によくなることが多いです。元気がなくぐったりしている、熱が何日も続くようでしたら、かかりつけ医に相談しましょう。熱があるときは無理しないでおうちで休むことが大切です。

病院では

お子さんが病気になったとき、かかりつけ医では、症状がいつからか、食事がとれているか、活気はあるかなどお子さんの様子を聞かれます。感染症の場合は、薬が処方されないことも多く、処方される場合でも、解熱剤や整腸剤のみで様子を見ることが多いです。

就学前までに接種しておきたい予防接種の目安

ワクチンの種類	予防接種時期と回数
ヒブ(インフルエンザ菌b型)	0歳台で3回、1歳台で1回
肺炎球菌	0歳台で3回、1歳台で1回
四種混合	0歳台で3回、1歳台で1回
BCG	0歳台で1回
はしか、風疹	1歳台で1回、5歳台で1回
みずぼうそう	1歳台で2回
日本脳炎	3歳台で2回、4歳台で1回
B型肝炎	0歳台で3回
インフルエンザ	毎年2回
ロタウィルス	0歳台で3回(2回のワクチンもあり)
おたふくかぜ	1歳台で1回、5歳台で1回

※上記は目安です。詳しくは、かかりつけ医にご相談ください

感染症の予防

感染症の対策は、なんといっても予防が大切です。帰宅時、食事の手洗いの習慣をつけたいですね。また、最近ではたくさんの予防接種が開発されてきました。幼児期までに接種がすすめられている予防接種時期の目安を左下表にしました。かかりつけ医と相談して、予防接種スケジュールを決めていきましょう。

インターネットの健康情報

病気になったとき、みなさんは、まずどうしますか？近年、病気や健康に関する情報は、インターネットを使って調べる人が増えたようです。インターネットは、誰でも自由に情報の発信や収集ができるなど、良い点もたくさんありますが、注意すべき点もあります。

1) 読めば読むほど不安になる

上手にいかなかったとき、予想外のことが起きたとき、人は情報を発信したくなります。熱が出たとき、多くのお子さんは自然に治りますが、中にはなかなか治らないお子さんもいます。また、特定の薬で副作用が出る人もいます。インターネットで見た情報が、いつもお子さんにあてはまるわけではないことに留意してください。

2) 科学的な研究結果なら安心？

近頃、関心がある人なら誰でも、専門雑誌の研究結果発表をインターネット上で読めるようになりました。有用な情報もありますが、専門家によって意見が分かれているような情報もあります。目新しい情報はニュースになりやすいですが、後で違うことがわかることもあります。研究の方法が違えば結果がかわることもあります。

このコラムでは、環境や健康に関する話題を専門家が分かりやすく解説します。

す。情報を発信しているのが国や自治体なのか、大学などの専門機関なのか、企業かあるいは個人なのかもチェックしておきましょう。

3) 人とのつながりをもつ

お子さんが病気になったとき、まず相談するのは誰でしょうか？家族でしょうか？保育園や幼稚園の先生でしょうか？ママ友でしょうか？かかりつけ医の先生でしょうか？情報が多いほど安心する人、逆に情報が多すぎて心配になる人など、人それぞれ情報の受け取り方が違うようです。いずれにしても、信頼できる人とのつながりを持ち、情報が信頼できるか吟味するように心がけるとよいでしょう。

終わりに

お子さんの急な病気は不安になるものです。しかし、子どもの感染症の多くは自然に治るものです。また、予防接種で防ぐことができる病気が増えてきました。信頼できる情報をうまく活用して乗り切ってくださいね。



■著者プロフィール
国立研究開発法人
国立成育医療研究センター 研究員
石塚 一校

鳥取県出身。島根県で小児科医として勤務後、2003年～国立成育医療研究センター勤務。その後、都内での病院勤務及び保健所、学校での活動を経て、2014年より成育医療研究センターでエコチル調査メディカルサポートセンター研究員として勤務している。子どもの病気の予防に関心がある。



※参加者のみなさまへのお願い

住所が変わった時は、担当のユニットセンターに新しい住所をお届けください

転居先が調査対象地域外であっても、質問調査票へのご協力など、可能な範囲で調査継続をお願いいたします。変更があった際は、質問票調査に同封している「登録内容変更届け」に新住所をご記入の上、質問票とともにご返信ください。または、担当のユニットセンターにお電話ください。

質問票調査にご協力ください

みなさまにお答えいただく質問票は、今後の調査、研究にとって非常に貴重なデータとなります。ちょっと答えにくかったり、時間がかかってしまう時もあるかと思いますが、質問票への回答、返却にご協力いただきますようお願いいたします。

お問合せ エコチル調査コールセンター

0120-53-5252

9:00 ~ 21:00(フリーダイヤル・年中無休)

■発行

子どもの健康と環境に関する全国調査
(エコチル調査) コアセンター

〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2 国立研究開発法人国立環境研究所

